03
-北部-

小野 正嗣（おの まさつぐ）

萩市役所 職員

応募のきっかけは？

仕事が忙しく、心に余裕がなくなってきて、山口県内であればどこでも良いから帰りたいと思うようになりました。インターネットで山口県の仕事を調べていた際に、協力隊募集の文字に目が留まり、協力隊については全く知りませんでしたが、募集内容を見て「やりたいことができる。面白そう」と思い、応募しました。

隊員時代の思い出を教えてください

元々、料理が好きで、留学したフランスでも多国籍の学生同士で、お国の料理を作り合うホームパーティーを楽しんでいました。その経験から、レシピを見なくても、失敗してもOKで、参加された方が楽しんでもらえる「ヨーロッパ料理教室」を開催。その際に、料理にちなんだ国の文化も話をしていたのですが、それを楽しかったという方もいらっしゃり、「次はいつやるの？」と尋ねられる方もおられ、楽しんでもらえていることを実感できていました。

この料理教室がきっかけとなり、任期2年目に小川地区社会福祉協議会と一緒に「たまがわヨーロッパまつり」を開催することになりました。

大変だったことは？

活動エリアの小川地区と弥富地区は隣合わせなのに、合併前の名残か地域活動などのやり方が違いました。とにかく両地区のいろいろなところに顔を出し、頼まれ事はやるようにしました。支所に地元の方がおられ、地域内の人や場所、団体などを紹介してくださり、自由に地域内を回らせてもらえ、本当に恵まれた環境でした。最初は何をして良いのか悪いのか、誰を頼って良いか、何を手伝ってもらえるのか、分からないことだらけでしたが、自由に積極的に動けたことで、地域に溶け込みすぎるくらい溶け込むことができました。

隊員時代：イベント準備

活動中のキーパーソンを挙げるとしたら？

任期3年目に入る前、「公務員になって、萩市を盛り上げたら良いよ」と教えてくださる方がいらっしゃいました。語学留学や市民活動に関する経験、自分の能力も生かせる部署が市役所内に多くあると言われ、「なるほど！その道がある！」と思い、目標が定まりました。

現在、そしてこれからについて

萩市に貢献できるので、市の職員になって良かったです。公務員を勧めていただいた方の言葉を胸にこれからも頑張ろうと思っています。コロナが収束したら、海外の方を萩市に呼びたいです。そして、萩市を訪れた方が、その魅力を伝えていってほしいなと思います。

協力隊を目指す人や後輩に伝えたいこと

「やりたい」と思ったことは、迷わずやった方が良いですよ。将来について、特に定まっていない人は、地域を盛り上げていく手段の一つとして自治体の職員を目指すことをお勧めします。

小野 正嗣（おの まさつぐ）さん

協力隊として

| 着 任 地 | 萩市
| 活動期間 | 2017年9月～2020年8月
| 活動内容 | 萩ジオパーク構想の推進

現在の仕事

萩市役所 職員

隊員時代：イベント会場

小野さんのあゆみ

- 2014. フランス留学
- 2017.09 協力隊着任
- 2019.04 たまがわヨーロッパまつり企画・開催
- 2020.06 萩市役所職員採用試験
- 2020.08 協力隊卒業
- 2020.09 萩市役所採用・勤務